

連帯

広島連帯ユニオン機関紙 No.228

〒731-0101 広島市安佐南区八木4-2-5(2階中央)

電話：082-873-1446 FAX：082-873-1475

E-mail：rentai-union@theia.ocn.ne.jp

<http://www12.ocn.ne.jp/~union-hi/index.html>

<http://union-hi.blogspot.com/>

鈴コン分会を迎え60名が結集！ 2.23春闘総決起集会が大成功



全国キャラバンを広島からスタートさせた東京西部ユニオン鈴木コンクリート分会を迎えて、13春闘総決起集会を開催し60名が結集しました。10.13集会、定期大会に続いて、今回もユニオン青年部が集会の成功をリードし、労働組合こそが自分たちの置かれた現実を変え未来を切り開くことを鮮明にしました。

広島連帯ユニオン鈴木委員長の開会あいさつに続いて、3月19日の出獄を間近にした中山崇志草津病院支部委員長の獄中からのメッセージを紹介。壹貫田書記長の「13春闘アピール」をうけて、いよいよ鈴コン分会が登壇しました。特別報告に立った吉本さんと鈴木さんは、3ヶ月雇用の非正規職が労働組合を作りストライキで解雇されながらも「絶対に負けるわけにはいかない」と共闘会議を結成して闘っていることを生き活きと語り、鈴コン分会の闘いを全国に拡げ労働組合を甦らせて行く展望を示しました（『月刊労働運動』2月号3月号の鈴コン分会インタビューをぜひ参照して下さい）。

ユニオンからは推進機構支部・草津病院支部・青年部が発言、動労千葉の闘いに肉薄し正規—非正規の分断を越え労働者の立場に立ちきって闘いを前進させていることを報告しました。さらに、動労千葉を支援する会広島、高陽第一診療所労組から発言を受け、広島労組交流センター大江代表のまとめと団結ガンバローで集会を締めくくりました。また、スト権投票の結果が報告され、97%の高率で大量解雇情勢を迎え撃つ13春闘のスト権を確立しました。

前日の22日に広島入りした鈴コン分会の吉本さんと鈴木さんは、2コースに分かれて組合まわりを行い、解雇撤回を訴えました。夕方からの交流会には14人が参加、鈴コンの闘いを聞いて労働組合の力を実感しました。一見強そうに見える会社も、労働者が団結して闘いを始めた途端に立場が逆転することがよく分かりました。集会前には、鈴コン分会の仲間と定例の鈴コン街宣を行いました。ついに鈴コンと広島との闘いが一つに結びつきました。とことん労働組合の団結にかけ切って闘いましょう。



2.11NAZENヒロシマ結成1周年集会、さあ3.11福島へ

2月11日、広島平和記念資料館会議室において、NAZENヒロシマ結成1周年集会が開催され、約100名が集まりました。福島から佐藤幸子さん（子どもたちを放射能から守る福島ネットワークの世話人・福島診療所建設委員会呼びかけ人）を迎え、3・11福島大行動の大結集にむけての決意を固める場となりました。

佐藤さんは、写真をスクリーンに映しながら、美しく豊かな自然を奪われた福島の現実、ペテン的な除染・復興に対する怒りを訴えました。被爆者・被爆2世から、子供たちの保養や診療所建設を進める立場から、大学から御用学者追放を闘う学生から、自民党安倍政権の福島見殺しを許さず、原発再稼働を阻止するための取り組みが報告されました。集会後、原爆ドームまでデモ行進を行い、3・11から8・6へのスタートをぎりしました。



外注化阻止決戦の第2ラウンドへ！2.17労働者集会に参加

国鉄全国運動2.17労働者集会は、10.1外注化阻止決戦の地帯を打ち固め第2ラウンドへの総決起の場となりました。外注化阻止の最前線で闘う仲間は、36協定締結をめぐる外注会社のでたらめな対応や偽装請負オンパレードの現状を訴え、外注化が鉄道の安全を崩壊させいつか絶対大事故につながることを実感しました。愛媛県職労の宇都宮委員長は、公務員攻撃に対して労働組合として闘っていくことを訴えました。動労千葉の被解雇者と現場の労働者が全労働者の問題として一体となって闘っていることが、正規-非正規・民間-公務員をこえた全労働者の団結が生み出される運動として発展しており、合同労組の仲間の闘いをも前進させていることを実感させる集会でした。

前段で開催された、国鉄闘争全国運動の活動者交流会では、これまで以上に多くの職場実践が報告されました。広島からはユニオンの植野執行委員が、広島市職の物販活動の紹介とともに、推進機構支部が嘱託職員の雇止め阻止を新システム導入と一体で闘い勝利したこと、草津病院支部の職場の安全を取り戻す闘いが職場全体を巻き込んで闘われていることを報告しました。



大阪市役所の真ん前で2.24橋下打倒集会



2.24橋下打倒集会が、大阪市役所前で開催され、ユニオンからも大挙参加しました。関西生コン支部、港合同、動労千葉に続いて、動労西日本の青年部が発言、労働者を使い捨てにするこの社会を変えようと力強く訴えました。橋下大阪市長のまると民間化攻撃は、労働組合を破壊し人権を奪う攻撃だということがハッキリしました。「ミス」や「事故」を労働者の責任にし「分限免職になる前に自主退職しろ」と強要するなど、絶対服従を強制する橋下市政に職場の怒りが爆発しています。

「入れ墨」処分撤回を闘う大阪市職の仲間、「君が代」不起立処分撤回を闘う大阪市教組の仲間を先頭に、民間化・外注化絶対反対！非正規職撤廃を闘おう。八尾北医療センターの明け渡し攻撃を粉砕した力で西郡更地化、道州制攻撃と闘おう。青年の未来を奪い返すために橋下打倒・安倍打倒しようと、団結を打ち固めました。

雇い止め阻止の力で労働組合の復権を！ | 推進機構支部

2月27、28日会社側から正式に契約を更新し来年度も継続雇用する通知が行なわれました。来年度の雇用を希望する嘱託職員、臨時職員全員が更新されたようです。会社側の雇い止め解雇の策動に対して、非正規労働者が労働組合でたたかって、実際に雇い止め解雇を阻止するという事は、今の世の中なかなかないことです。画期的な勝利だといっていると思います。

この3月末、多くの職場で非正規労働者の雇い止め解雇が狙われ、全国各地で解雇阻止の闘いが展開されています。推進機構での雇い止め解雇阻止の勝利の報は多くの非正規労働者に「たたかえば勝てる！」という希望を与えています。

今回の勝利は、職場のみなさんの団結、力添えがあつての勝利です。昨年支部を結成し、5月からビ

ラを発行し11月と2月に団体交渉を行なってきました。その過程全体で様々な意見や助言、また思わぬところからの情報提供など、いろいろな形で力添えがありました。職場のみんなの力で勝ち取った勝利として確認したいと思います。

雇い止めをめぐる攻防では画期的な勝利を切り開きましたが、たたかいは新たなスタートラインに立ちました。

新システムの説明会や試験運用が始まっていますが、肝心な部分はいまだに未完成。これではまったく訓練にもなりません。こんなに短い期間で導入して大丈夫なのでしょうか？ 会社側は何か起きたときに責任がとれるのでしょうか？ 今回の勝利を土台にいまこそ職場に闘う労働組合をよみがえらせましょう。

草津病院は職員の怒りの声をきけ！ | 草津病院支部

この間の8病棟の放火事故や昨年12月5日に東区戸坂のホスピス『クリーム』で起きたことは、明日にも自分の職場で起きないとは限らない！ 本当に他人事ではないと感じていた時、2月2日には、8病棟で再び重大事故が起きました。なんということでしょうか！さらには、2月22日に、長崎の認知症のグループホームで4名死亡の悲惨な火災事故が発生しました。夜勤の派遣労働者にすべての責任が負わされていたのです。今、職員が声をあげなければ、重大な事故が、自分の職場で現実のものとなってしまいます。職員が個人で頑張るには限界があります。事故の責任は職員には一切ありません。

職場の安全を守るということは病院の基本です。しかし、その基本が守れていない状況です。それなのに草津病院は、ユニオンの要員確保・安全確保の要求に捜査中だから答えないというのです。

病棟の現状は、一言で言うと“人がいない”ということです。業務分担も、事前に組めず、朝出勤した時や問題が発生したその都度、その都度に対応を決めていく状況なのです。

今、一番問題になっているのは「日勤のワーカーが足りないということ」です。1人でも、やむをえず休みを取ったら、それだけで仕事が回らない。本当にギリギリの数になつてもいます。

人がいればここまでにはならない、誰がどうか言っておれない状態で、他の職員の事はかまっていられずに、すべて自分でこなさなくてはなりません。これで患者の介護や看護が十分できるはずはありません。日勤の人が夜勤の人が来るまで働き続ける日が連続している状況なのです。

職員が安全に働ける職場をみんなで団結して取り戻しましょう。組合に入って共に闘いましょう！

組合破壊の配転を断固拒否！ | 広大生協労組

徳丸執行委員の定年後嘱託再雇用について、広大生協理事会は管理部からの異動を計画していました。これまでの定年再雇用では他部門への配転などなかったのに、何の合理性もない労組破壊のための配転攻撃です。絶対反対で闘ってきましたが、先日の団体交渉で「配転命令を拒否したら解雇するのか」と詰め寄ると、吉山専務は「それは考えていない」と明言しました。

赤字を口実に余剰人員と決めつけられて、多くの人が同じように一方的に配転や時間短縮を押しつけられているのではないのでしょうか。しかし、赤字の責任は労働者には一切ありません。忘年会で帰りが遅くなったとホテル代まで請求する幹部連中にデカイ態度をさせてはなりません。配転を阻止したのは労働組合の力です。泣き寝入りせず労働者として誇りをもって闘おう！

ひろしま労働学校

<https://sites.google.com/site/roudougakkou/>

第7回 労働組合と社会主義

受講レポート

資本家にとっての労働者＝使い捨てにできる奴隷、という認識は資本主義が初めて成立した頃と変わらず、むしろ時を経るごとに、自身の利益や豊になることのみを追求し過ぎて生命を生命と思わない、家畜以下の存在でしかないと思っているのは明らかだと思います。資本と労働者は対等ではない、資本は労働者を支配し続けていく存在なのだ、どうして思い込み続けられるのか全く謎です。

それでも労働者は賃金闘争や労働時間延長に対して、取り込まれたり、潰されることもあれど、団結し、闘い、人間らしい生活を勝ちとるという信念や姿勢を貫き続け、受け継がれて来たことが、今日の民営、外注化阻止、非正規職撤廃に対しての、怒りの団結・闘争の原動力なのだと思えました。

次回は

3月16日(土)13時から幟会館2階にて
テーマ：非正規職撤廃闘争

講師：宮原亮・広島連帯ユニオン青年部長
山田和広・勤労西日本書記長

3月雇い止め阻止に勝利したユニオン推進機構支部と、契約社員制度廃止・解雇撤回闘争を闘う勤労西日本から提起を受けます。2人の若き組合のリーダーが訴えます！

無実の中山さんと共に闘う会

<https://sites.google.com/site/nakatomokai/>

中共会ニュースNo.15発行

3.11福島現地闘争へ総決起しよう！

3.19中山草津病院支部委員長奪還へ！

3月19日、組合つぶしのデッチ上げ弾圧で獄中に捕らわれていた中山崇志草津病院支部委員長が、完黙・非転向を貫き、ついに勝利者として出獄する。

中山支部委員長への弾圧に対して草津病院支部は青年労働者を先頭とした組織拡大をかちとり、権力・資本に致命的な打撃を強制した。そして現下の新自由主義資本との攻防の真ただ中で中山支部委員長を戦列に取り戻すことの意味は極めて大きい。さらなる組織拡大に向かって、全力でうって出よう。

<目次>

- 3・19中山奪還、草津病院で「反合理化・運転保安闘争」を推し進めよう！
- 2・23春闘総決起集会へのアピール
- 中山さんからの手紙（2月）
- 組合員からの手紙・介護労働者からの投稿

中山奪還！3・19山口現地行動

3月19日(火) 午前8時
山口刑務所・表門前 集合
(JR山口線 湯田温泉駅 北東 600m)

年会費の更新をお願いします

- 年会費 1口=2,000円 (カンパ歓迎)
- 振替口座 01330-7-109491
広島連帯ユニオン

スケジュール

3月 9日 (土)	全国労働組合交流センター・総会
3月10日 (日)	全国労働組合交流センター・総会
3月11日 (月) 13:00	3.11反原発福島行動'13 (福島教育会館・同実行委員会)
3月16日 (土) 13:00	ひろしま労働学校 (幟会館・広島労組交流センター)
3月19日 (水)	中山草津病院支部委員長・出獄
3月24日 (日) 12:00	三里塚全国総決起集会 (成田市・三里塚芝山連合反対同盟)
4月 6日 (土) 18:00	広島県労働組合交流センター定期総会 (西区民文化センター・大会議室C)
4月20日 (土)	尼崎事故弾劾全国総決起集会 (尼崎)
4月21日 (日)	外登法・入管法を撃つ関西研究交流集会 (大阪)